

平成16年第4回三重県議会定例会

16年11月18日
～12月17日

防災対策や
来年度予算などについて議論



今回の定例会では、補正予算案、決算認定議案や議員提案条文案などが審議され、三日間で十二名の議員が一般質問に立ちました。

また、会期中、予算決算特別委員会、同委員会分科会や各常任委員会を繰り返し開催し、議案や請願等について詳細な審査を行うとともに、来年度予算の編成について調査を行いました。

なお、台風二十一号にかかる災害復旧事業等と一体になって、再度災害の発生を防止するための事業経費を計上した補正予算案ほか一件を、緊急を要することから先議し、原案どおり可決しました。

閉会日の十二月十七日には、知事提出議案三十七件が原案どおり可決されたほか、昨年度の一般会計及び特別会計にかかる十二件の決算が認定されました。また、請願五件を採択するとともに公安委員会委員にかかる人事関係議案に同意しました。さらに、議員提案条文案四件、意見書案七件及び決議案一件を原案どおり可決しました。その後、予算決算特別委員長から来年度の予算編成にかかる調査について中間報告が行われ、閉会しました。

一般質問

紀南・紀北県民局の存続を

県民局の統廃合

森本 繁史議員
自民・無所属・公明議員団（熊野市選出）

問

県は、現在七つある県民局を四から五カ所に再編するとしています。市町村合併や厳しい財政状況をその理由にあげていますが、流動的な市町村合併の行方をしっかり踏まえるべきであり、また、統廃合が大きく県財政に資するとも考えられません。具体的には、防災対策など共通する課題が多いからと、紀北、紀南県民局を統合して東紀州県民局とする案ですが、災害により尾鷲と熊野が分断された場合、指揮をとる局長がおらず混乱が生じることは火を見るより明らかです。ともかく、県民局の統合が県民サービスの低下につながるのは必至であり、断固反対するものです。小さな組織でも局長を配し、県行政を地域の隅々までいざわたらせる必要があると考えますが、所見をお聞かせください。

答

県民二一スの多様化、市町村合併の進展、厳しい財政状況などに対応し、地域に応じた簡素で効率的・効果的な組織・機能確立することを目的に見直しを行うものです。紀北県民局と紀南県民局の統合については、人口や市町村数、事務量など一定の規模が確保でき、共通した施策・課題に関して、一体となった取組が期待できると考えています。なお、県民局の再編後